

健康診断の検査項目について

Vol.7

健康診断でよく行われる検査項目について、その働き・基準範囲・疑われる疾患などを解説していきます。

〔全身状態などを調べる検査〕

血液中のたんぱく質を調べ、栄養状態の目安や肝臓・腎臓の状態を把握するために行う検査です。

血清総たんぱく(TP)

基準範囲：6.5～8.0 g/dℓ

肝臓や腎臓などの機能に異常が生じると血清中の値が変動する。

高値・・・肝臓病・感染症・自己免疫疾患など

低値・・・肝硬変・ネフローゼ症候群など

血清アルブミン(ALB)

基準範囲：4.0 g/dℓ以上

肝臓で作られるたんぱく質。血液の浸透圧を調整するのに重要な働きをする。

低値・・・腹水・肝障害・がんなど

〔膵機能検査〕

膵臓や唾液腺で分解されるアミラーゼの量を測定し、主に膵臓の異常を探る検査です。

血清アミラーゼ(AMY)

基準範囲：35～125 IU/L

膵臓と唾液腺でつくられる酵素ででんぷんを分解する。膵臓や唾液腺が詰まると血液中や尿中に漏れ出す。

高値・・・急性膵炎・耳下腺炎など

低値・・・慢性膵炎・膵臓がんなど

藤枝健診センター健診検査課主任 高田 雅紀

第47回学校保健セミナーを開催(報告)

当協会は、静岡県学校保健会と共催し、「第47回学校保健セミナー」を昨年12月1日に静岡県男女共同参画センターで開催しました。今回は、「気になる子への対応」をテーマとして常葉大学保育学部講師の赤塚めぐみ先生に講演いただき、養護教諭など95名の方が熱心に受講されました。学校現場で対応に困っている「気になる子」について、統計的分析や障害の背景因子など学術的観点から解説するとともに、学校のできる支援、特に保健室を求める子への理解と対応について、これまでの経験や具体的な事例を踏まえながら講演していただきました。



〔開催案内〕第48回学校保健セミナー

南海トラフ巨大地震がいつ起こるかわからない状態にあります。また地震だけでなくゲリラ豪雨による水害なども近年多発しています。

この講習では、災害を経験した時にどのような反応がでるのか、それに対してどのように対処すればいいのかを解説します。またリラックス法の演習も入れて、子どもたちへの対応だけでなく、自分自身にもどのようにケアを進めるとよいかについても体験的に学んでいきます。

- テーマ：「災害時における子どもの心のケアのあり方」
- 講師：静岡大学教育学部教授 小林 朋子氏
- 日時：平成30年3月8日(木) 14:00～16:00
- 会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
- 受講定員：140名(先着順)
- 問合せ先：静岡県予防医学協会 健康増進課広報担当
電話054-636-6461 F A X 054-636-6462

〔開催案内〕第21回産業保健セミナー

昨今、労働環境に着目した「職場環境改善」活動が注目されるようになりました。昔から労働衛生の3管理にある「作業環境管理」がその起源となりますが、これは化学物質などの有害物から労働者を守ることがその趣旨でした。しかし、メンタルヘルス対策の一つとしてストレスチェック制度の職場集団分析などから、メンタルヘルス不調の一要因として、職場の人間関係などといった環境面の問題を取り上げ改善することが言われるようになりました。

演者はこれまでに「作業環境管理」の視点から、「職場環境改善」を行ってきました。その考えを応用し、今回はメンタルヘルス対策も含め、「いきいき働くことができる職場環境」について、参加者の皆様と考えてみたいと思います。

労働現場において、諸問題を取り上げ、職場風土の改善には何が必要か。また、どのようなことをしていくのがよいのかをお伝えできればと思います。

- テーマ：「いきいきと働ける職場を目指して—いま私たちにできること—」
- 講師：ジャトコ株式会社 安全健康管理部 統括産業医 西 賢一郎氏
- 日時：平成30年2月21日(水) 13:00～15:00
- 会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」4階第1研修室(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
- 受講定員：80名(先着順)
- 問合せ先：静岡県予防医学協会 健康増進課広報担当
電話054-636-6461 F A X 054-636-6462

静岡県予防医学協会 総合健診センター ヘルスポートだより

新規オプション検査のご案内

ヘルスポートでは、本年1月から「アレルギー検査」・「ミアテスト乳がんリスク検査」・「Lox-index(ロックスインデックス)検査」の3種類の新しいオプション検査を導入いたします。

検査方法は採血のみです。健診の際に、合わせてご受診されてみてはいかがでしょうか。

【アレルギー検査】

◎アレルギー検査とは

一度の少量採血で39種類の項目を調べることが可能な検査です。室内の塵や花粉、食品表示義務7品目を含むアレルギー性疾患の主要な原因アレルゲンが網羅されています。

また、気になる種類のみをセットしたものとして、「鼻炎」「皮膚炎」「喘息」「食物」を準備いたします。

アレルゲンとなる物質は人によって様々であり、複数のアレルゲンに対してアレルギーを起こすこともあります。原因のアレルゲンを正確に特定することで、注意しなければいけない季節、最小限除去しなければいけない食物などが分かり、生活への負担も軽減されます。

【ミアテスト乳がんリスク検査】

◎ミアテスト乳がんリスク検査とは

血液中に存在しているマイクロRNAという物質を測定・解析し、乳がんのリスクを調べる検査です。マイクロRNAとは、遺伝子の調整役として機能する物質で細胞の発生や増殖などに関わっているといわれています。リスクの高い方は、食生活・運動など生活習慣病の見直しや精密検査の受診をお勧めします。

◎特徴

血液中のマイクロRNA量は、がんのステージや腫瘍の大きさに依存せず変化します。腫瘍マーカーでも反応せず、画像検査で見つからない1センチ以下のがんでも早期に発見できる可能性があります。

【Lox-index(ロックスインデックス)検査】

◎Lox-index(ロックスインデックス)検査とは

動脈硬化に関連するLAB(悪玉コレステロール)とLOX-1(血管内にあるたんぱく質の1種)という2つの物質を調べ、動脈硬化の進行具合から脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを知ることを目的とした検査です。これらの疾患の原因となる動脈硬化に深く関連する物質を測定することで、将来的な危険度を知ることができます。

◎ロックスインデックスが高い方は

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。LAB(悪玉コレステロール)とLOX-1(血管内にあるたんぱく質の1種)の増加を促してしまう要因として、生活習慣病(喫煙・過食・過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等があります。予防対策として、適度な運動やバランスの良い食生活に心がけて生活習慣を見直しましょう。

「ものわすれドック」紹介サイトをネット上に開設しました! ～パソコンやスマホから直接アクセスできます～

認知症発症の可能性を早期に発見・対処していただくため、総合健診センターで「ものわすれドック」を受診できます。ぜひ、アクセスしてみてください。

●URL

「<http://www.shsa.net/monowasuredock>」

または

「公益財団法人 静岡県予防医学協会 ものわすれドック 特設ページ」

●QRコード



*当協会ホームページからもアクセスできます。

当協会ホームページが、 スマホから見やすくなりました!

